

市長含めた内部組織からの原案への意見

市民憲章は

- ①市民にわかりやすいもの
- ②未来へのメッセージが入っているもの
- ③市民から共感を得るものでなければいけないと思う。

まずこの原案を見たときに言葉ありきで全体の意味が通じない。大人も(私たちも)わからない。ルビや説明文を入れずに読めることが前提にしてほしい。

【具体的な指摘部分】

○前文

- ・こころと心…日本語として適当か？
- ・こころと心を繋ぐ…「繋ぐ」はどこに掛かっているのか？
- ・お茶の香芳し…すぐに読める？
- ・尊敬…「敬愛」のほうがいいのでは？
- ・夢が喜ぶ…日本語として適当か？
- ・みらいに羽ばたけ…表現が古い。「伸びゆけ」がいいのでは？

○条文

- ・句読点の使い方を精査すること
- ・マナー…たばこのポイ捨てのマナー？
- ・まつりも子育てもスポーツも…並びがちぐはぐ
- ・だれもが仕事に学習に健康に…声に出して読むと4つ言葉が続く印象

事務局からの提案

原案ではパブリック・コメントを行った際に、同様の意見が市民から提出されることが予想されます。

市民からの「わかりにくい」というご意見に「大人になれば理解できます」「説明文を見てください」というお返事をして、果たして市民に憲章が浸透するのか疑問が残ります。

第5回では原案のベースは残しつつも、全体的な表現の見直しを提案させていただきますので、各自ご意見をまとめてきてください。